

令和4年度(2022年度)  
北海道の教育職員に係る勤務実態調査

令和5年(2023年)8月

北海道教育委員会

# 目次

1 調査概要	1～ 3
2 教育職員の勤務実態調査について	
(1) 在校等時間等の状況	
① 教育職員の1日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない。）	4～ 5
② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布	6～11
③ 教育職員の1日当たりの在校等時間の分布	12～15
④ 教育職員の1日当たりの在校等時間と持ち帰り時間	16～17
(2) 1日当たりの在校等時間における業務の状況	18～25
(3) 主幹教諭・教諭の属性別勤務時間	
① 年齢別 1日当たりの在校等時間・持ち帰り時間	26
② 担任別 1日当たりの在校等時間	27
③ 部活動の担当別 1日当たりの在校等時間	28
④ 部活動の担当別 1日当たりの部活動指導時間	29
⑤ 部活動に関する知識・力量別 1日当たりの部活動指導時間	30
(4) 勤務日の休憩時間等	30
3 教育職員の意識等に係る調査について	
(1) 調査対象職員の属性等について	31
(2) 忙しさを感じる業務について	32～35
(3) 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて	36～39
(4) 個人の仕事に対する意識について	40～43

# 1 調査概要

## (1) 調査目的

北海道内の公立学校（札幌市立学校を除く。）における直近の教育職員の勤務実態を把握し、令和元年度に実施した調査結果と比較分析すること等により、北海道における教育職員の業務の効率化や集約化などに向けた取組の一層の推進を図ることを目的とする。

## (2) 調査対象校

### ア 抽出校数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計
学 校 数	28校	28校	20校	10校	86校

※平成28年度調査、令和元年度調査も同様の抽出校数

### イ 抽出方法

#### (ア) 小中学校

- ・14（総合）振興局管内から、小学校各2校、中学校各2校を学校規模等を考慮して抽出
- ・令和元年度（2019年度）調査との比較を考慮して前回抽出校の半数（小14校、中14校）を本年度の調査対象校として抽出

#### (イ) 高等学校

- ・普通科13校、専門学科4校、複数学科2校、総合学科1校を学科ごとの学校数を考慮して抽出
- ・普通科は、学校規模等を考慮して抽出
- ・専門学科は、農業科1校、工業科1校、商業科1校、水産科1校を各学科単置校から抽出
- ・令和元年度（2019年度）調査との比較を考慮して前回抽出校の半数（10校）を本年度の調査対象校として抽出

#### (ウ) 特別支援学校

- ・視覚障がい1校、聴覚障がい1校、知的障がい7校、肢体不自由1校を障がい種ごとの学校数を考慮して抽出
- ・令和元年度（2019年度）調査との比較を考慮して前回抽出校の半数（5校）を本年度の調査対象校として抽出

## (3) 調査対象職員

上記調査対象校に勤務する教育職員のうち、校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手を対象とした。

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計
総 数	538人	492人	748人	553人	2,331人
対 象 数	439人	358人	494人	399人	1,690人

※男性63.7%、女性36.3%

※令和元年度調査(男性63.3%、女性36.3%)

- ・総 数：2,410人(小学校559人、中学校506人、高等学校794人、特別支援学校551人)
- ・対象数：2,065人(小学校507人、中学校443人、高等学校692人、特別支援学校423人)

※再任用職員及び臨時的任用職員のうち、フルタイムで勤務する職員を含み、休職中の職員を除く。

※対象数は、1週間のうち1日年休取得者及び1日3時間以上の年休を取得した職員を除いた数。

(前回調査同様。)

#### (4) 調査期間等

次の期間のうち、連続する7日間（土曜日及び日曜日を含む。）を調査対象校が設定して業務調査及び意識調査を無記名で実施した。

- ・調査期間 令和4年（2022年）11月4日（金）～11月30日（水）
- ・業務調査 勤務実態についての調査（電子データ提出）
- ・意識調査 業務に係る意識等についてのWeb調査

#### (5) 「教育職員の勤務実態調査」の集計上の留意点

##### ア 時間の定義

##### (ア) 勤務日

「①勤務時間」…… 始業時刻から終業時刻までの正規の勤務時間帯のうち、業務に従事した時間

「②在校等時間」…… 出勤時刻から退勤時刻までの時間帯のうち、業務に従事した時間

「③持ち帰り時間」… 当日の午前5時から出勤時刻まで及び退勤時刻から翌日の午前5時までの時間帯のうち、業務に従事した時間

##### (イ) 勤務不要日

「②在校等時間」…… 出勤時刻から退勤時刻までの時間帯のうち、業務に従事した時間

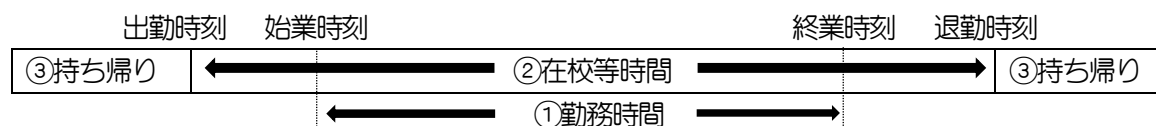
「③持ち帰り時間」… 当日の午前5時から出勤時刻まで及び退勤時刻から翌日の午前5時までの時間帯のうち、業務に従事した時間

##### (ウ) 共通事項

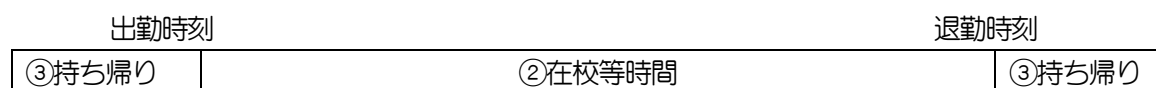
「在校等時間（持ち帰り時間は含まない。）」… ②

「在校等時間等（持ち帰り時間を含む。）」…… ②+③

#### 【勤務日】



#### 【勤務不要日】



#### イ 始業時刻・終業時刻の設定

始業時刻及び終業時刻の設定は各学校により異なるため、集計の便宜上、学校ごとの始業・終業時刻によらず、全教育職員の始業時刻を8時00分、終業時刻を17時00分と設定して、集計を行った。ただし、高等学校の定時制課程については、当該校の設定に応じたものとした。

これは、令和元年度に実施した前回調査と同様の取扱いであり、当該調査の結果と今回調査の結果を比較するため、同様の取扱いとしたものである。

#### ウ 集計方法

勤務日については、1週間の勤務時間の状況を把握することを念頭に置き、①「実態調査票の調査日の区分が「勤務日」であり」、②「1日のうち最低でも5時間分の記入があり」、③「②が1週間のうち5日以上あるもの」を集計に用いた。

勤務不要日については、①「実態調査票の調査日の区分が「週休日等」であり」、②「勤務日の集計対象者」を集計に用いた。

なお、各時間量及び百分比については、端数処理により、内訳の和と合計値が一致しない場合がある。

(6) 「教育職員の意識等に係る調査」の集計上の留意点

ア 調査対象職員の属性等について

調査対象職員（全員）の属性、部活動顧問の状況等についての回答を集計した。

イ 忙しさを感じる業務について

調査対象職員（全員）、「副校長・教頭」及び「主幹教諭・教諭」の職において、分類した25項目の業務について、それぞれ「①負担に感じている」「②どちらかといえば負担に感じている」「③どちらかといえば負担に感じていない」「④負担に感じていない」「⑤担当業務なし」の中から1つ選択した回答から、各回答項目の「①負担に感じている」「②どちらかといえば負担に感じている」を合わせた割合の高い順に集計した。

ウ 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて

調査対象職員（全員）、「副校長・教頭」及び「主幹教諭・教諭」の職において、忙しさや負担感を解消するために必要と考えるものとして分類した35の項目の中から、最大3つ選択した回答から、回答割合の高い順に集計した。

エ 個人の仕事に対する意識について

調査対象職員（全員）において、個人が職務上感じているもしくは意識している6項目と、職場環境（学校）に対して感じている5項目の合計11項目について、それぞれ「①感じている（あてはまる）」「②どちらかといえば感じている（あてはまる）」「③どちらかといえば感じていない（あてはまらない）」「④感じていない（あてはまらない）」の中から1つ選択した回答から、各項目の回答数・割合を集計した。

また、分析個表については、各回答項目で「①感じている（あてはまる）」と回答した者の他の回答状況を集計したものである。

## 2 教育職員の勤務実態調査について

### (1) 在校等時間等の状況

#### ① 教育職員の1日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない。）

#### ア 勤務日

・全ての校種において、「副校長・教頭」の在校等時間が最も長くなっている。  
 ・前回調査（R1）と比較して、中学校の「校長」、「主幹教諭・教諭」、高等学校「実習助手」、特別支援学校「養護教諭」以外の職種で在校等時間が減少している。

※前回比、全国比の   部分は、差がプラスになっているもの。

（時間：分）

勤務日		道教委調査				文科省調査との比較	
		H28 (11月)	R1 (11月)	R4 (11月)	前回比	文科省 R4	全国比
小学校	校長	9:34	9:30	9:19	-0:11	10:23	-1:04
	副校長・教頭	12:05	11:36	11:10	-0:26	11:45	-0:35
	主幹教諭・教諭	10:16	10:00	9:45	-0:15	10:45	-1:00
	養護教諭	9:15	9:18	9:01	-0:17	—	—
	栄養教諭	9:12	10:17	9:30	-0:47	—	—
中学校	校長	9:38	9:30	9:37	+0:07	10:10	-0:33
	副校長・教頭	11:53	11:45	11:30	-0:15	11:42	-0:12
	主幹教諭・教諭	10:33	10:19	10:23	+0:04	11:01	-0:38
	養護教諭	9:29	9:37	9:09	-0:28	—	—
	栄養教諭	11:16	10:39	10:22	-0:17	—	—
高等学校	校長	9:33	9:17	8:44	-0:33	9:37	-0:53
	副校長・教頭	11:35	10:51	10:28	-0:23	10:56	-0:28
	主幹教諭・教諭	10:02	9:45	9:40	-0:05	10:06	-0:26
	養護教諭	9:06	9:24	9:09	-0:15	—	—
	実習助手	8:54	8:53	9:03	+0:10	—	—
特別支援学校	校長	9:52	9:18	9:18	±0:00	—	—
	副校長・教頭	12:03	12:09	11:07	-1:02	—	—
	主幹教諭・教諭	9:25	9:28	9:28	±0:00	—	—
	養護教諭	8:59	9:02	9:10	+0:08	—	—
	栄養教諭	10:03	9:03	9:01	-0:02	—	—
	実習助手	8:10	8:35	8:23	-0:12	—	—

## イ 勤務不要日

・小学校、特別支援学校の「副校長・教頭」、中学校、高等学校の「主幹教諭・教諭」の在校等時間が各校種の中で最も長くなっている。  
 ・前回調査（R1）と比較して、小学校の「養護教諭」、中学校の「校長」、高等学校の「実習助手」、特別支援学校の「校長」「副校長・教頭」「実習助手」以外の職種で在校等時間が減少している。

※前回比の   部分は、差がプラスになっているもの。 （時間：分）

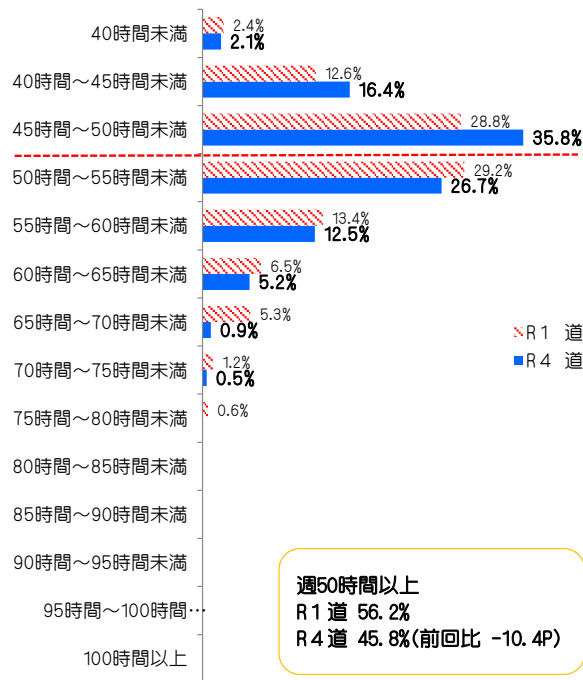
勤務不要日		道教委調査				文科省調査との比較	
		H28 (11月)	R1 (11月)	R4 (11月)	前回比	文科省 R4	全国比
小学校	校長	0:37	0:31	0:04	-0:27	0:49	-0:45
	副校長・教頭	1:25	0:54	0:18	-0:36	0:59	-0:41
	主幹教諭・教諭	0:25	0:10	0:05	-0:05	0:36	-0:31
	養護教諭	0:06	0:00	0:09	+0:09	—	—
	栄養教諭	0:18	0:36	0:16	-0:20	—	—
中学校	校長	0:55	0:54	0:59	+0:05	1:07	-0:08
	副校長・教頭	1:29	1:02	0:24	-0:38	1:16	-0:52
	主幹教諭・教諭	2:53	2:07	1:43	-0:24	2:18	-0:35
	養護教諭	0:48	0:50	0:19	-0:31	—	—
	栄養教諭	1:25	0:26	0:40	+0:14	—	—
高等学校	校長	0:32	1:00	0:00	-1:00	1:37	-1:37
	副校長・教頭	1:01	0:59	0:21	-0:38	1:18	-0:57
	主幹教諭・教諭	2:12	1:48	1:46	-0:02	2:14	-0:28
	養護教諭	1:02	0:38	0:00	-0:38	—	—
	実習助手	0:41	0:36	1:33	+0:57	—	—
特別支援学校	校長	1:03	0:00	0:39	+0:39	—	—
	副校長・教頭	0:33	0:26	0:44	+0:18	—	—
	主幹教諭・教諭	0:04	0:05	0:01	-0:04	—	—
	養護教諭	0:13	0:00	0:00	±0:00	—	—
	栄養教諭	0:00	0:00	0:00	±0:00	—	—
	実習助手	0:00	0:00	0:05	+0:05	—	—

## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

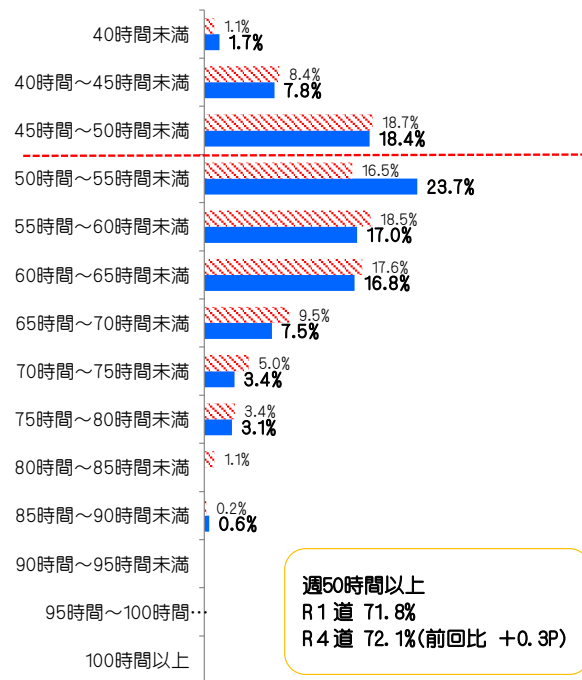
### ア 教育職員全体

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校45.8%、中学校72.1%、高等学校53.6%、特別支援学校33.7%、全体50.8%となっている。

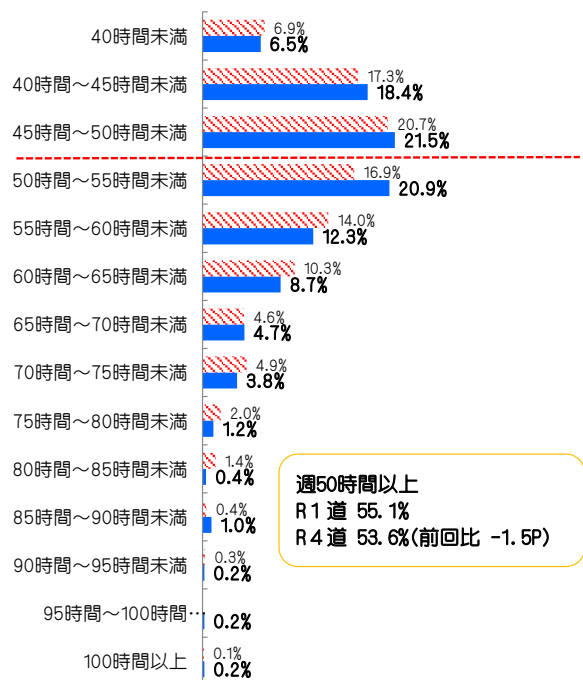
(ア) 小学校



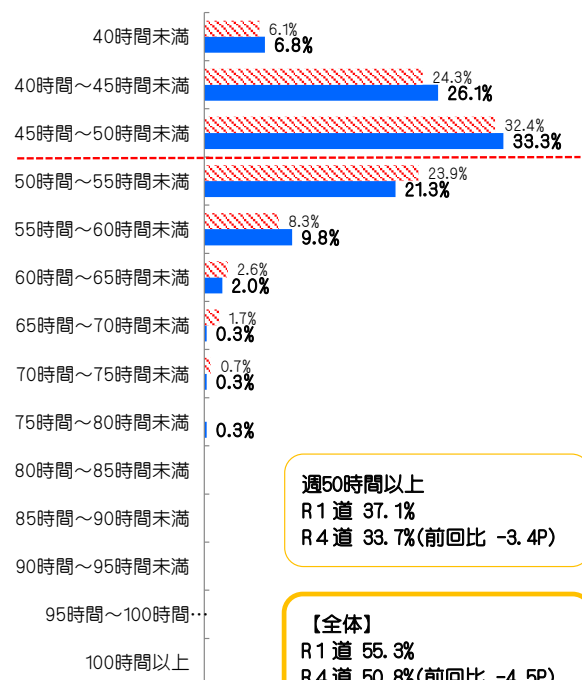
(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(工) 特別支援学校



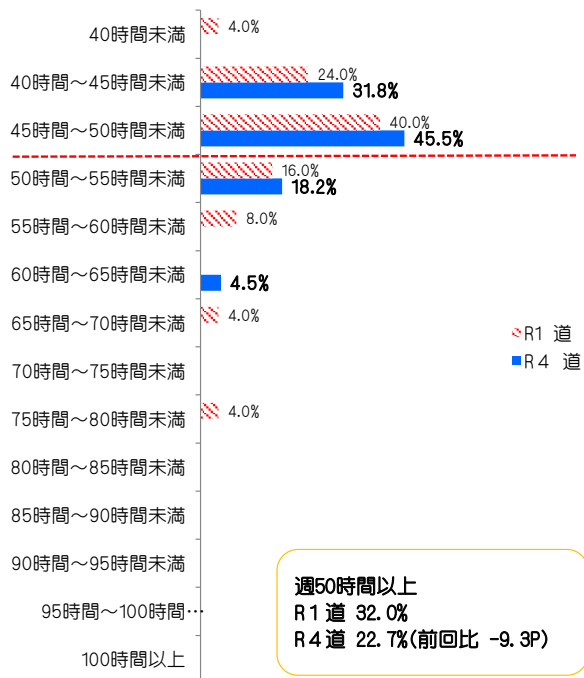


## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

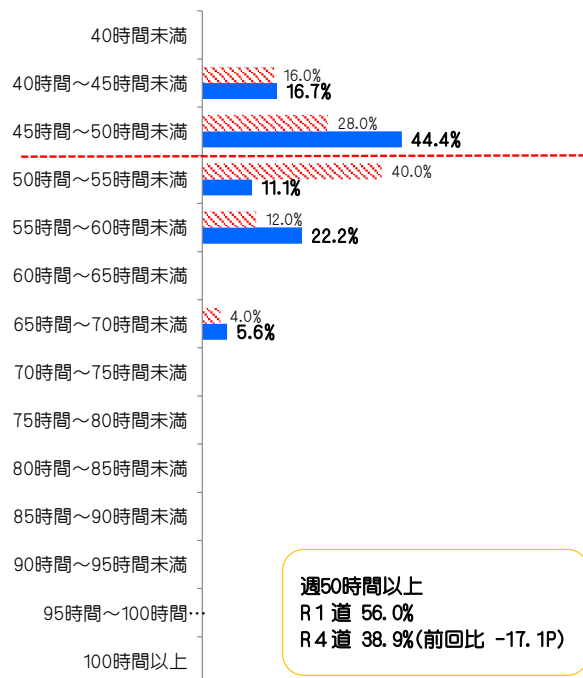
### イ 校長

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校22.7%、中学校38.9%、高等学校7.7%、特別支援学校16.7%、全体23.7%となっている。

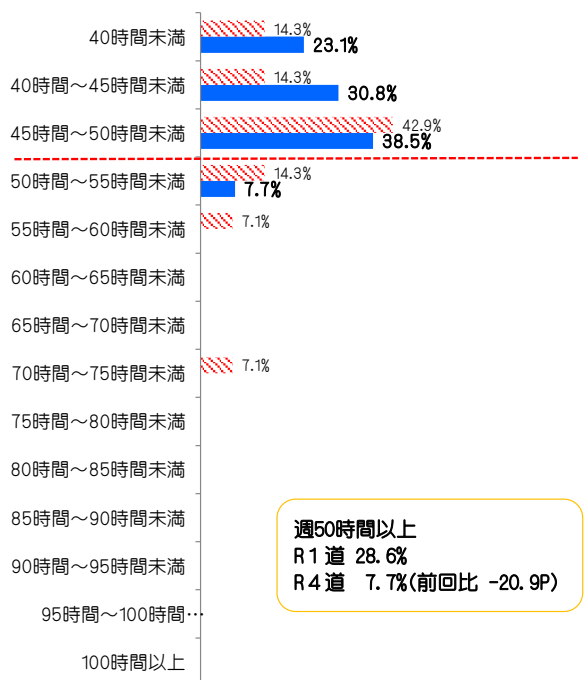
(ア) 小学校



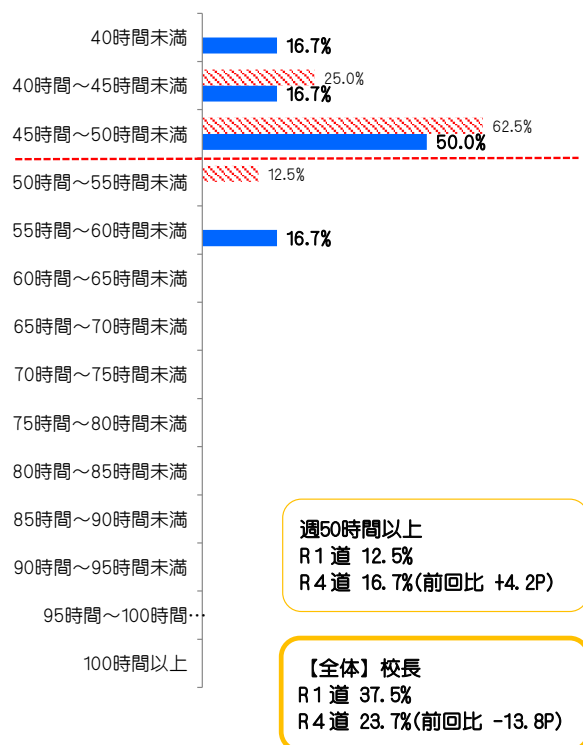
(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(工) 特別支援学校

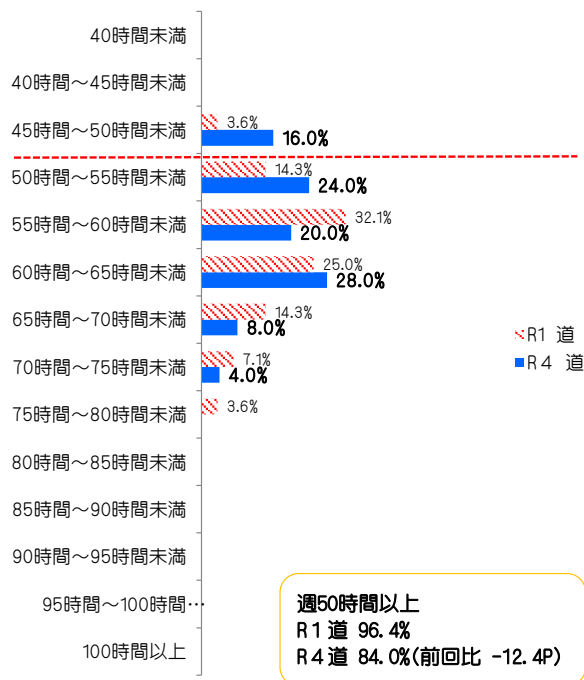


## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

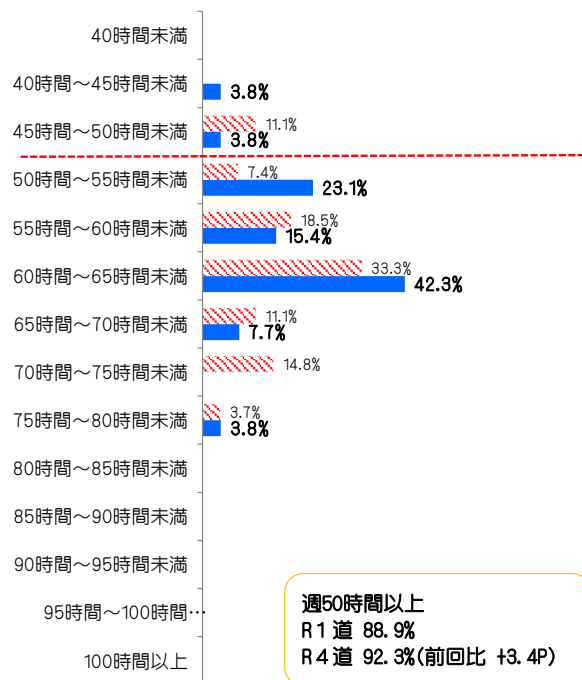
### ウ 副校長・教頭

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校84.0%、中学校92.3%、高等学校68.4%、特別支援学校84.6%、全体83.1%となっている。

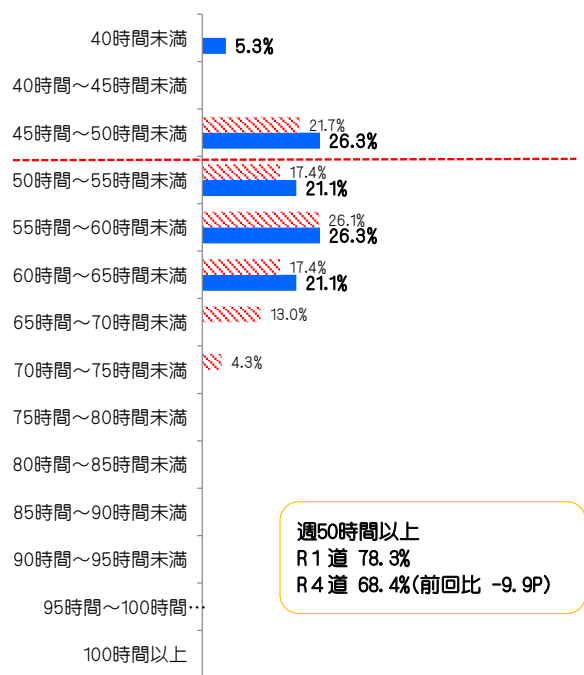
(ア) 小学校



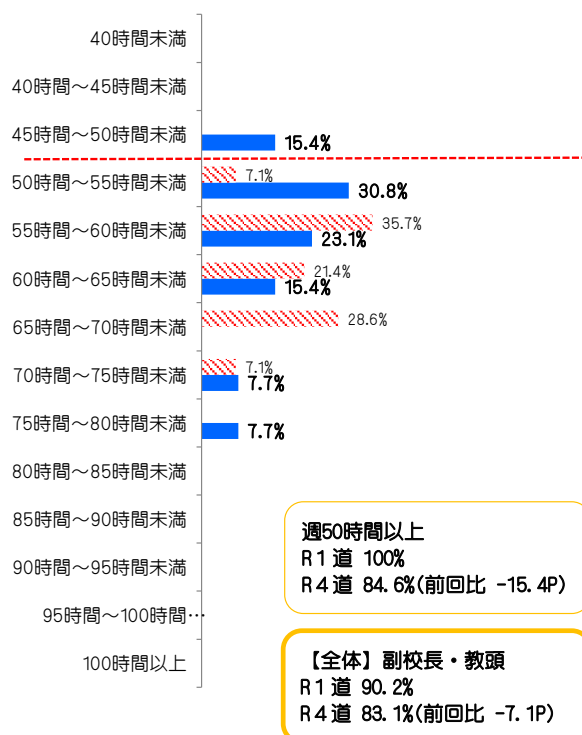
(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(工) 特別支援学校

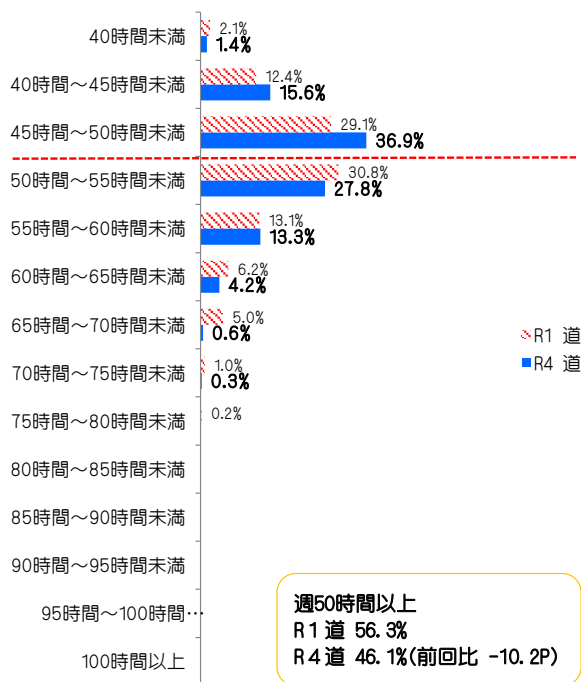


## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

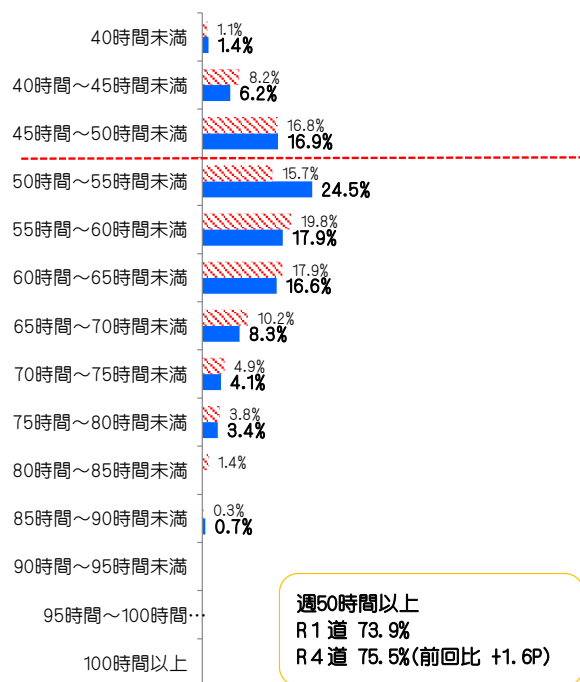
### 工 主幹教諭・教諭

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校46.1%、中学校75.5%、高等学校59.0%、特別支援学校36.0%、全体53.6%となっている。

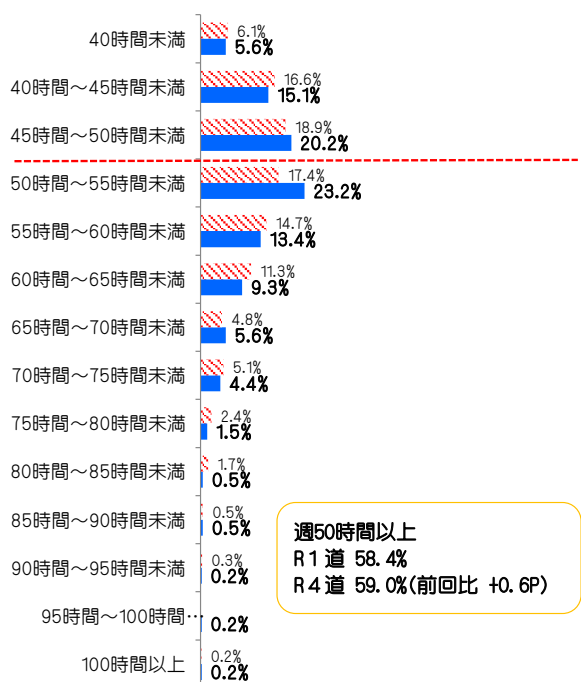
(ア) 小学校



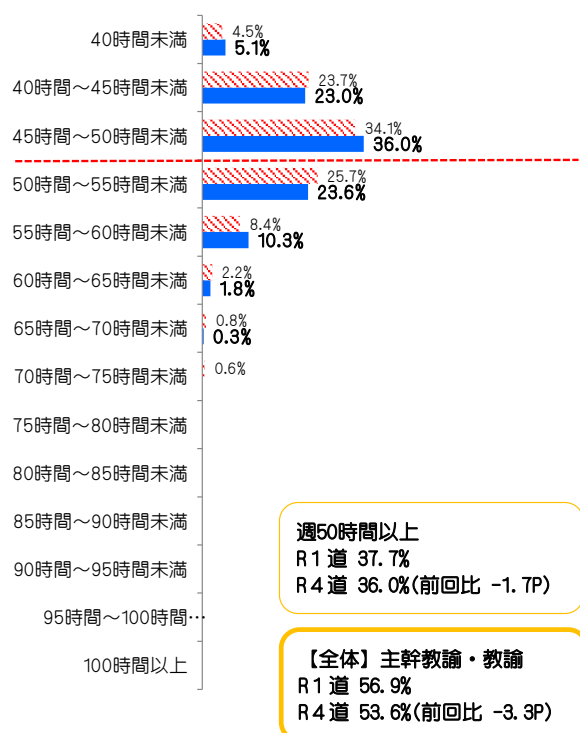
(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(工) 特別支援学校

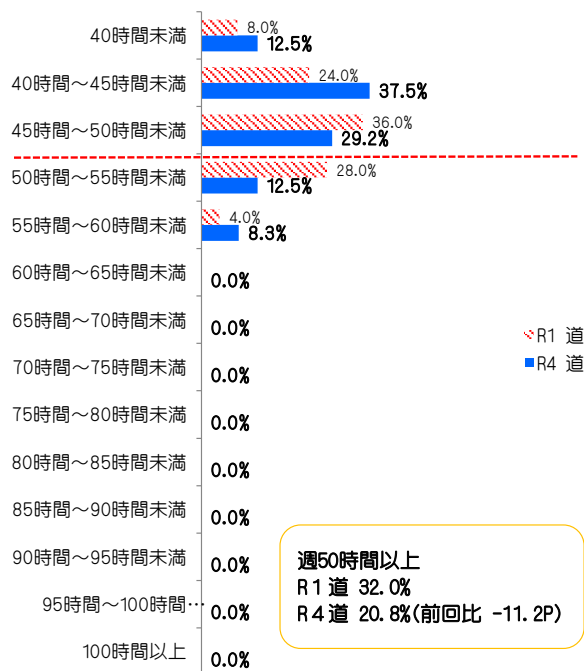


## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

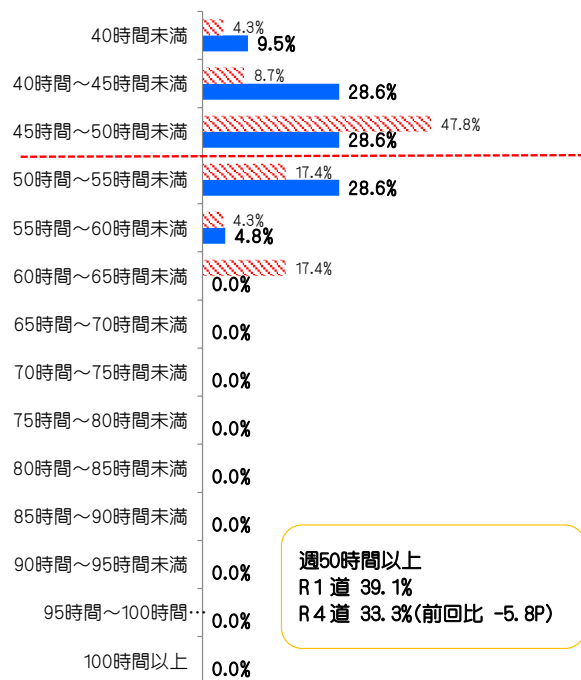
### 才 養護教諭

・ 在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校20.8%、中学校33.3%、高等学校6.3%、特別支援学校8.3%、全体19.2%となっている。

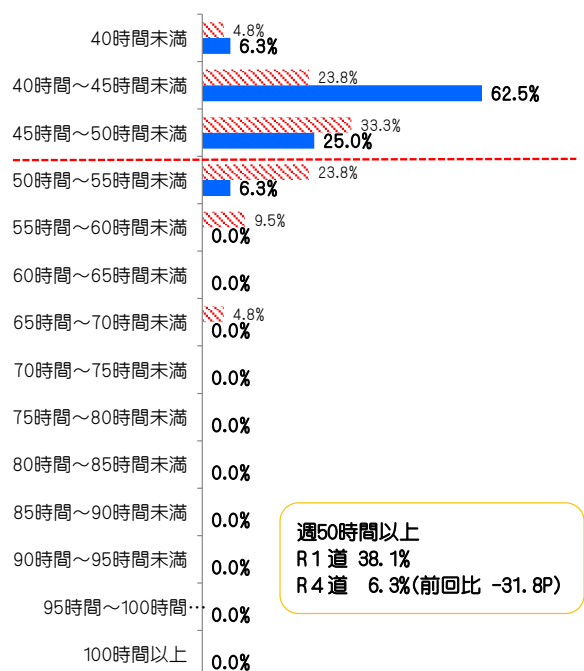
(ア) 小学校



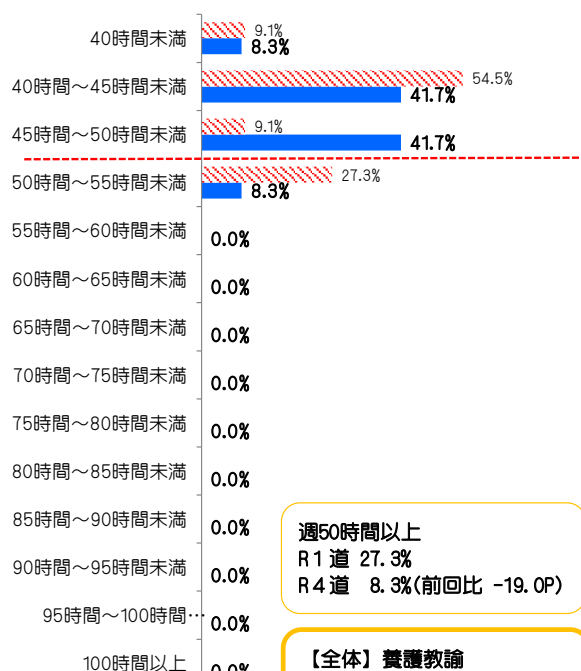
(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(工) 特別支援学校



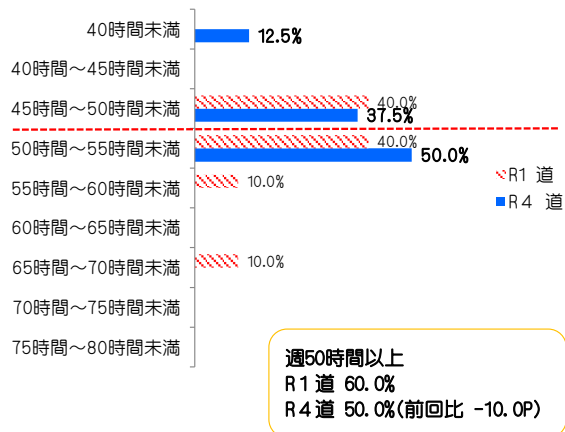
【全体】養護教諭  
R1道 35.0%  
R4道 19.2%(前回比 -15.8P)

## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

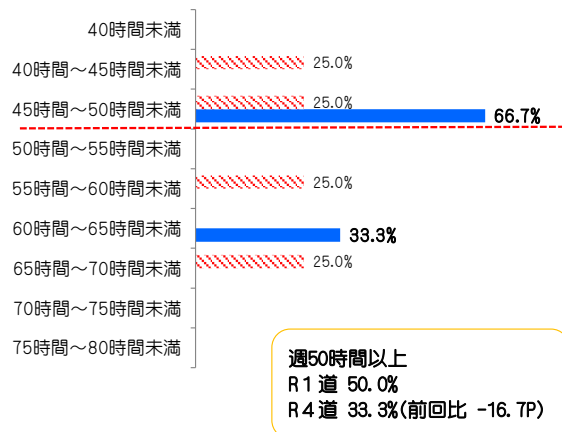
### カ 栄養教諭

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、小学校50.0%、中学校33.3%、特別支援学校40.0%、全体43.8%となっている。

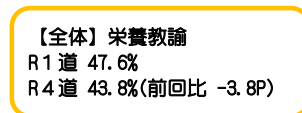
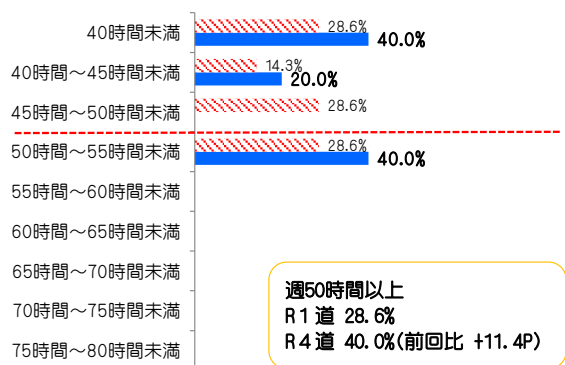
#### (ア) 小学校



#### (イ) 中学校



#### (ウ) 特別支援学校

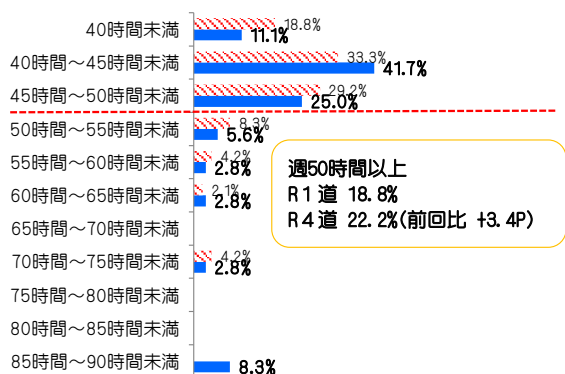


## ② 教育職員の1週間当たりの在校等時間の分布

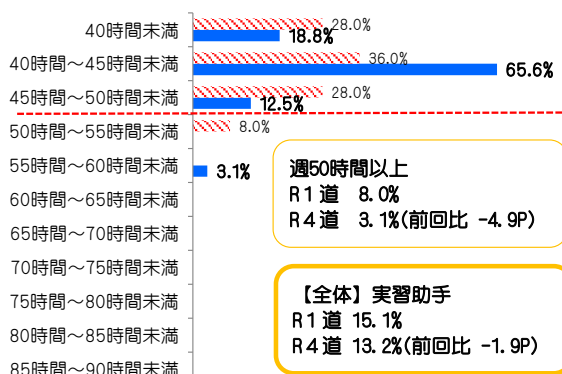
### キ 実習助手

・在校等時間が「週50時間以上の者の割合」は、高等学校22.2%、特別支援学校3.1%、全体13.2%となっている。

#### (ア) 高等学校



#### (イ) 特別支援学校



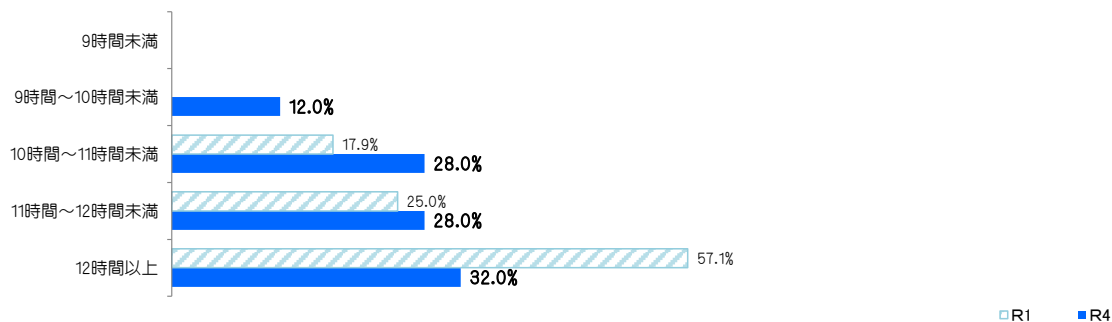
### ③ 教育職員の1日当たりの在校等時間の分布

#### ア 副校長・教頭

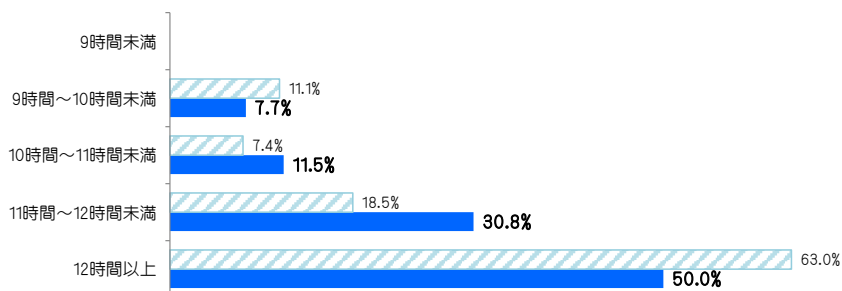
【勤務日】

・小学校、中学校では「12時間以上」、高等学校では「10時間～11時間未満」、特別支援学校では「10時間～11時間未満」「11時間～12時間未満」が占める割合が最も高い。

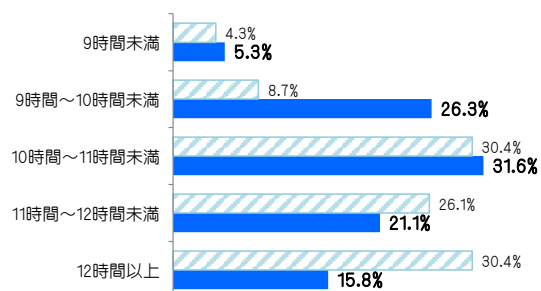
#### (ア) 小学校



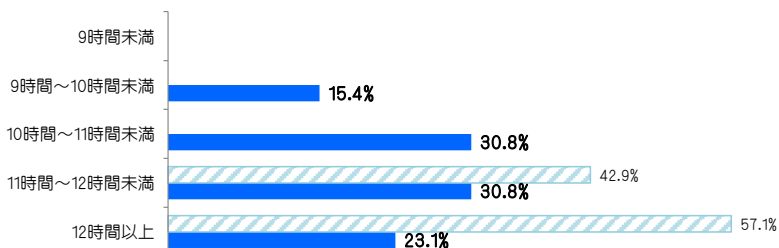
#### (イ) 中学校



#### (ウ) 高等学校



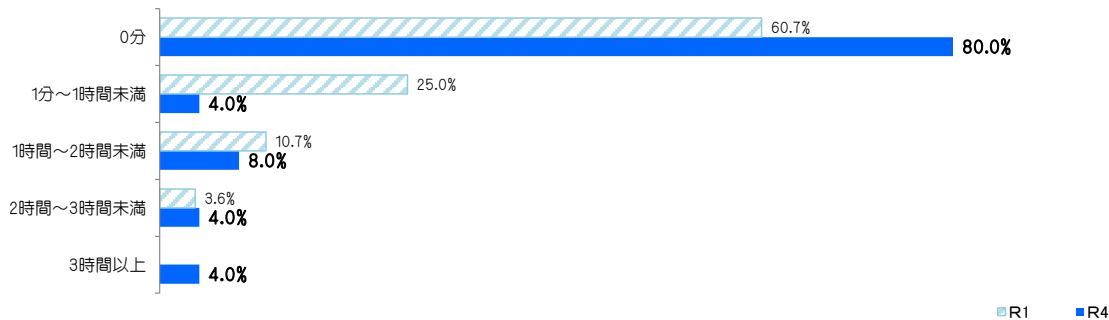
#### (工) 特別支援学校



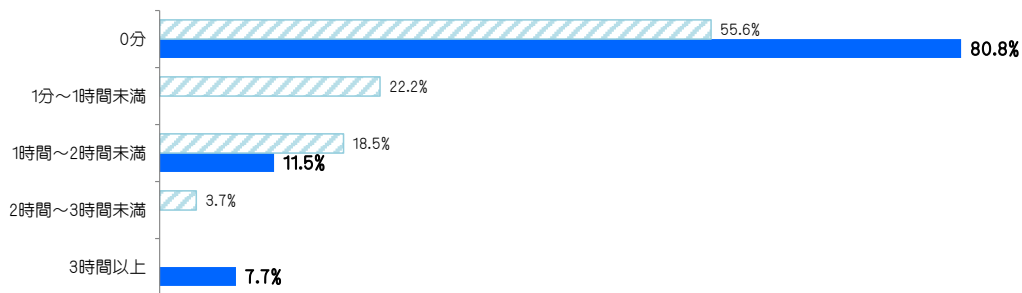
【勤務不要日】

・全ての校種において、「0分」が占める割合が最も高い。

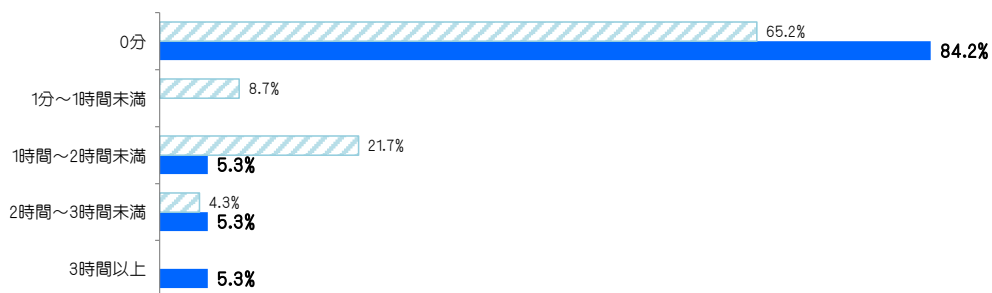
(ア) 小学校



(イ) 中学校



(ウ) 高等学校



(エ) 特別支援学校

